

【活用問題】

「花のつくりとしくみ」	() 組 () 番	氏名
-------------	----------------	----

裕子さんは、アブラナとタンポポについて、次のような観察を行った。下の(1)～(3)の問い合わせに答えなさい。

〔観察〕

- ① アブラナの花の各部分を外側にあるものから順にていねいにとり、図1のよう
- にセロハンテープで台紙にはりつけた。
- ② タンポポの1つの花をルーペで観察し、図2のようにスケッチした。
- ③ タンポポの果実をルーペで観察し、図3のようにスケッチした。

図1

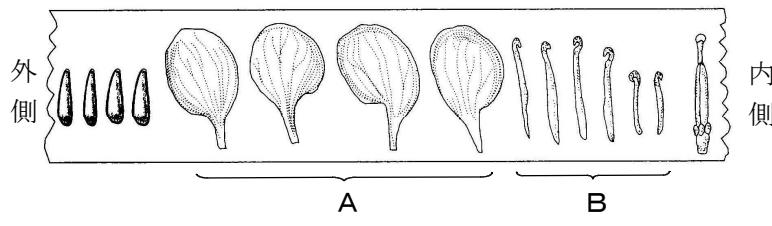


図2

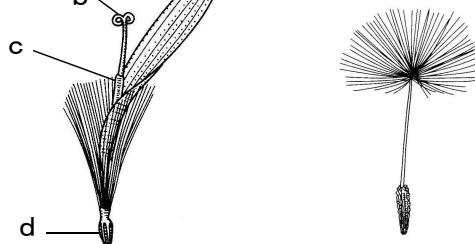


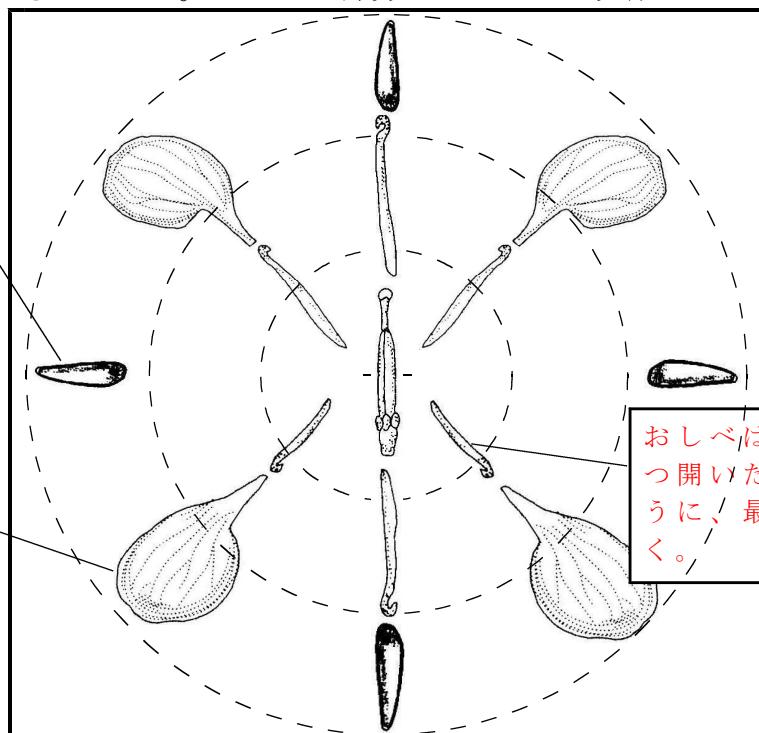
図3

- (1) 次の図は、図1のアブラナの花の各部分をめしへを中心にして、花のつくりがわかるように示したものである。足りない部分をおぎなって完成させなさい。

がくは、約90°ずつ開いた形になるように、最も外側になるようにかく。

花弁は、がくの内側にかき、がくとの角度が約45°になるように、また、花弁どうしは、約90°ずつ開いた形になるようにかく。

おしべは、約60°ずつ開いた形になるように、最も内側にかく。



(2) 図1のA、Bに当たるものは、図2のa～dのどれか。それぞれ1つ選び、記号で答えなさい。

A	a	B	c
---	---	---	---

(3) 裕子さんは、次のように考察した。下の①～③の問い合わせに答えなさい。

[考察]

アブラナとタンポポの花のつくりは異なるので、2つは違う種類の植物だとわかった。アブラナの花は、花弁が1枚ずつに分かれているので（ア）類である。また、a タンポポの花は、花弁が1枚しかないので、（イ）類である。しかし、花弁やおしべの数がちがっているが、めしべの根もとにふくらんだ（ウ）があるので、アブラナもタンポポも（エ）植物である。

（ウ）の中には（オ）があり、この（ウ）が成長して果実になる。
b タンポポの果実は毛のようなものがついていて、アブラナの果実は熟すとさける。つまり、花はなかまをふやすはたらきをしているといえる。

① 考察の（ア）～（オ）に適切な言葉を入れなさい。

ア 離弁花	イ 合弁花	ウ 子房
エ 被子	オ 胚珠	

② 下線部aには誤りがある。下線部aを正しく書き直しなさい。

(例) タンポポの花は、花弁が1つにくっついている。

タンポポは、5枚の花弁がたがいにくつについて、1枚のよう見える。（合弁花）

③ 下線部bのしくみによって、タンポポやアブラナの種子はどうなるか。なかまをふやすことに関するさせ書きなさい。

(例) 遠くに種子が飛んで、多くのなかまをふやすことができるようになる。

被子植物は、なかまをふやすために、果実が様々な形になっている。

- ・動物が食べて、ふんとして遠くに運ばれる。
- ・風にのって遠くに運ばれる。